

IS技術者のためのPsytech2020研究会

オンライン会合のご案内

「上司が嫌い」感情的コンフリクトの発生と行動への影響」

当研究会ではプロジェクトマネジメントの機能の1つであるプロジェクト・メンタル・プロセス*1が重要であると考えています。プロジェクト・メンタル・プロセスは、仕事の遂行者であるIS技術者の心的システム、そして本人の心的システムに刺激となる上司との関係性が鍵であると想定されます。

職場の人間関係はメンタルヘルスにとって、そして仕事のパフォーマンスにとっても重要です。しかし昨今、職場のハラスメントの訴えが急増するなど職場の一体感が失われかねない事態がみられ、社会問題となっています。

今回ご登壇される澤田浩佑様は企業の人事労働の実務家であり、パワハラ対応をされてきた中で、パワハラ問題は相手への嫌悪感情、相手とのコンフリクトの悪化がその背景にあるのではないかと仮説から調査研究を実施し、修士論文「職場における『嫌い』の研究～上司に対する『好嫌』がコンフリクト発生時の行動に与える影響～」を発表されました。この論文は神戸大学MBA・2021年度加護野論文賞銅賞に輝いたものです。

研究において、工場という現場において部下のどのような点に「嫌悪感」を抱き、上司との関係性（LMX：リーダー・メンバー交換理論）に影響を与えるか、あるいはコンフリクト発生時の行動に影響を与えるか詳細な分析が行われています。これからの上司と部下という関係性、そして「明るく、風通しのよい職場」づくりに向けての課題について考察もなされています。

PMBOKにおいてコンフリクトマネジメントは重要プロセスとして位置づけられています。プロジェクトリーダーがコンフリクトマネジメントのためのスキルや対処法について習得することは重要ですが、型通りのやり方では難しいのではないかと考えます。対立することがあっても互いに受け容れたり、プロジェクトに関わる人同士が納得して「心から話し合える」といった生命情報*2に根差した関係を築くためにはどうすればよいのか、一緒に考えていきたいと思えます。

*1) 新情報システム学体系調査研究委員会編、新情報システム学序説、一般社団法人情報システム学会、2014
従来より明示されている「プロジェクトマネジメント・プロセス」および「ソフトウェア・エンジニアリング・プロセス」に加えて、第3のプロセス「プロジェクト・メンタル・プロセス」が重要であると示されている。

*2) 基礎情報学では、情報は「生命情報」、「社会情報」、「機械情報」の3種類に大別される。「あらゆる情報は生命情報であり、その中の一部が社会情報に転化する。さらに、社会情報の一部が機械情報に転化する。ここで、転化するとは、「基本的に元の性質を保ったまま新たな属性を付加されると言うてよい。」

参考文献：西垣通、続基礎情報学：「生命的組織」のために、NTT出版、2008

記

日時：2022年10月29日（土）10時00分～11時30分

場所：オンライン（zoomを使用）申込受付後、参加者の方には招待メールを送付致します。

参加費：不要

★参加ご希望の方は、メールで主査宛てにお知らせください。（〆切：10月27日木曜日）

★予定人数に達した時点で参加申込の受付を終了することがあります。

主査 三村和子（e-mail:kzkmimura■gmail.com）※■は@に置き換えてください。